

## 当社社長の「2009年 新年挨拶」について

本1月5日、当社社長の松下功夫は、2009年を迎えるにあたり、社員に対して新年の挨拶を行いました。要旨は次のとおりです。

1. 昨年は、原油価格が1バレルあたり100ドル以上の幅で乱高下したほか、米国の金融危機を発端として一気に世界経済が悪化するなど、まさにこれまでに経験したことがない激動の年であった。
2. こうした状況の下、当社が属する新日鉱グループは、昨年12月、新日本石油と経営統合することに基本合意した。これは、石油製品の国内需要が構造的に減少する中で、その変化に先手を打ち、激化する競争に勝ち抜くために下した決断である。本経営統合の趣旨を理解し、わが国の石油業界最大の企業誕生に向けて主体的に取り組んで欲しい。
3. 各部門においては、経営統合後、早期にシナジー効果が発揮されるよう主に次の課題に取り組んで欲しい。
  - (1) 効率的な販売体制の構築とCS(顧客満足)経営活動の継続的な実践  
昨年11月に導入した新卸価格体系に最適な販売体制を構築するとともに、CSこそが収益力強化の王道であることを強く認識し、CS経営活動に継続的かつ地道に取り組んで欲しい。
  - (2) 安全・安定操業の維持  
国内精製能力の余剰が深刻化し、製油所間の競争が激化する中、安全・安定した操業を維持することが最大の命題である。これまで以上に安全・安定操業の維持に努めるとともに、一層の省エネルギー対策を推進し、製油所のさらなる国際競争力向上に取り組んで欲しい。

以上